



セカンドハーベスト名古屋

# SECOND HARVEST NAGOYA

## PRESS

2017.6.30

NO.8

SECOND  
HARVEST  
NAGOYA  
NPO法人 セカンドハーベスト名古屋発行元 認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋  
〒462-0845 愛知県名古屋市北区柳原3-4-2 小菅ビル1F  
TEL:052-913-6280 FAX:052-913-6281  
E-mail:info@2h-nagoya.org URL:<http://www.2h-nagoya.org/>

編集／印刷 橋本写植

### 誰でも気軽に参加できる 社会貢献活動「フードドライブ」

家庭で眠っているもったいない食品を活かす  
取り組みが広まっています



#### ■フードドライブとは？

近年「フードドライブ」という活動が、注目を集めています。行政や市民活動団体などを中心に取り組みが広がっています。「フードドライブ」とは家庭で余っている食品を学校や職場に持ち寄り、それらをまとめて福祉施設やフードバンクに寄付する活動のことを言います。企業では、フィットネスチェーンの「カーブス」が07年より会員を対象に全国の各店舗で行ったり、英国の労働者の厳しい現状を描いた映画「わたしは、ダニエル・ブレイク」(16年、ケン・ローチ監督) 上映時には映画館で食品の寄付を受け付けたりするなど新たな取り組みも生まれています。

#### ■食品ロスの半分は家庭から

日本では食べられるにも関わらず捨てられる食品（食品ロス）が年間621万トンも発生し

ています。これは、世界の食糧援助量の約2倍にあたる膨大な量です。国民一人当たりに換算するとお茶碗約1杯分もの食品が毎日捨てられていることになります。

#### 日本の食品ロス



年間約621万トン

※2014年度 農林水産省

#### 世界の食糧援助量



年間約320万トン

※2014年 国連WFP

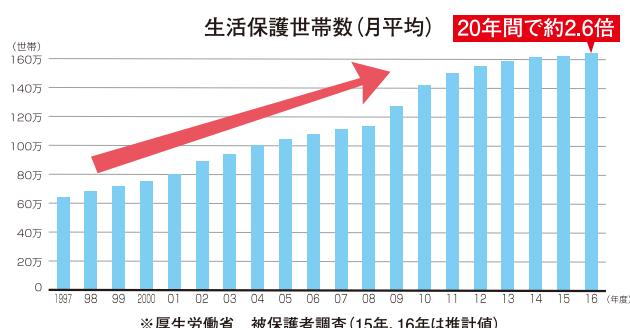
そして、食品ロスの約半分が家庭から出ているとされており、市民一人ひとりが日常の中で食品ロス削減に取り組むことが必要となっています。

#### CONTENTS

フードドライブ	…p.1～2	パートナー団体紹介	…p.3
ボランティアインタビュー	…p.4		

## ■一方で食べるものに困る方がいる現実

生活保護世帯数は近年増加傾向にあり、16年12月に164万世帯を超え、過去最高を更新しました。ある調査では、過去1年間に経済的な理由で家族が食料を買えなかった経験をもつ世帯は約15%にも及ぶことが分かりました（12年国立社会保障・人口問題研究所）。突然の病気やケガ、失業、離婚など、様々な理由から苦しい状況にいる方が多く存在しています。



現在、日本ではまだ食べられるにも関わらず多くの食品が捨てられる一方で、食に困っている方がいる矛盾した状況が生まれています。

## ■もったいない食品を市民の力で活かす取組

17年5月より名古屋市とセカンドハーベスト名古屋（以下、2HN）が連携し、フードドライブを定期的に実施することになりました。これまでイベントでの期間限定の実施でしたが、今回より毎月1週間、名古屋市の施設「環境学習センター（p1冒頭写真）」で市民の方から食品寄付を受け付けています。そこで集まった食品は

すべて2HNに寄付され、生活に困った方などにお届けします。

初回の5月には7日間で70名の方に計180キロもの食品を寄付いただきました。ご参加いたしました。ご参加い



寄付いただいた食品の一部

ただいた方からは「食べられるものを捨てるのは忍びなかったので助かる」、「今後も長く続けてほしい」など、前向きな意見を多くいただいています。

フードドライブは、家庭で眠っているもったいない食品を寄付するという気軽に参加できる社会貢献活動です。2HNでは、今後も自治体や社会福祉協議会、市民活動団体などと連携してフードドライブを広めていきます。

## 名古屋市環境局 フードドライブ概要



・**日時:毎月8~14日 9時30分~17時**

※環境学習センターの休館日を除く(毎週月曜(祝日の場合はその翌平日))

・**場所:環境学習センター(エコパルなごや)**

(名古屋市中区栄1-23-13 伏見ライフプラザ13階)

☎ **052-223-1066**

※賞味期限が1カ月以上ある常温保管可能な未開封の食品が対象です。その他詳細は、名古屋市環境局HPをご参照ください。



シャチのジュンちゃん

## 名古屋市環境局 担当者インタビュー



Q: 名古屋市がフードドライブを始めた経緯を教えてください！

A: ゴミ削減の取り組みの中で昨年度より「食品ロス」に特化した施策を検討・実

施してきました。その中で、もったいない食品を有効に生かすフードドライブの取り組みを始めることにしました。16年9月に名古屋市が主催する環境系

イベント「環境デーなごや」で初めて実施しました。

Q: フードドライブを始めてみて、市民の方からはどんな反応がありましたか？

A: 食品を寄付された方が「食品をもらってくれて『ありがとう』」とおっしゃっていたのが印象的でした。食品を捨てるという少し後ろめたい行動から、人の役に立つ行動に変えられる貴重な場だと感じました。

Q: 今後の展開を教えてください！

A: フードドライブという取り組み自体の普及啓発はもっと必要だと感じています。また、より多くの方に気軽に参加いただけるように、食品受付の拠点も増やしていきたいと考えています。



## 特集 愛知PFS協会

「先生ここは?」「これは、2の2乗だから…」  
「あっ、そっか！」

名古屋市内にあるビルの一室。一見すると普通の学習塾のように見えますが、ここに来る中高生は不登校・ひきこもりの悩みを抱えた子ども達です。

運営するのは、名古屋市内で不登校やひきこもりの悩みを抱えた子どもとその家族を支援する「愛知PFS協会」。その活動は多岐にわたり、子どもの居場所づくりや学習支援、通信制高校に通う生徒のサポートや障害をもっている子への専門支援なども行っています。



最近注目されているのが、名古屋市から委託を受けて市内7か所で行っている生活保護世帯やひとり親世帯の子どもたちへの学習支援。平日の17~19時、市の施設にある会議室を使い、親の経済状況により塾に通えない中学生に対して大学生や社会人ボランティアが無料で勉強を教えています。

育ちざかりの子ども達にとっては、ちょうどお腹がへる時間。さらには、2時間集中し続けるのは大変です。そこで休憩時間にボランティアと子ども達が一緒に軽い食事をとります。ここで提供されるのが、企業・個人から2HNへ寄付いただいたパンやお茶、お菓子等です。こういった食品はスタッフの方に毎週引取に来ていただき、学習支援で使うパンやお茶、居場所のお昼ごはんとして使うカレーやポテトサラダ等、必要に応じて仕分けした後それぞれの活動で有効に使われています。

### 一般社団法人愛知PFS協会

愛知県名古屋市中区栄1丁目26-8

G S白川公園ビル5A

TEL:052-228-0280

e-mail : info@aichi-pfs.org

URL : <http://www.aichi-pfs.org>

団体名「PFS」は Personal Future Support  
「ひとりひとりの未来へのサポート」の略

食べ物があることで、どんな効果があるのか尋ねてみました。「一緒にご飯を食べることで、子どもとの関係をつくりやすくなります。」「パンを食べながら『今日学校でさー!』やお茶を飲みながら『お母さんがね…』など、ぽろっと本音を話してくれたりもします。」さらには、運営面でも助かっているとも。「毎週食品にいただけすることで、私たちスタッフが食べ物の心配することが無くなり、結果的に子ども達のサポートに集中できるようになりました。」

最後に、フードバンクの食品を活用するにあたり気を付けていることを尋ねてみました。



「これ（フードバンクから食品を受け取っていること）を当たり前にしたくないです。2HNの皆さんをはじめ、色々な大人達が支えてくれていることを、子ども達に伝えたいからです。」

まさに団体名にあるように「子ども達ひとりひとりを支えたい」。そんな想いにあふれた団体だと感じました。



## ボランティア インタビュー

2HNは、20～70代のボランティア約30名が日々の活動を支えています。今回は、食品メーカー勤務の経験からボランティア参加された小山さんにインタビューしました。

Q：2HNの活動に参加する前から「フードバンク」という活動は知っていましたか？



小山さん

A：元々食品メーカーに勤務していたこともあり、フードバンクの存在は知っていました。実は、私自身が食品を廃棄する業務も担当していたんです。全国各地の倉庫にある食品の在庫管理を担っており、業務の一部として、滞留在庫やパッケージ変更などによって売れなくなってしまった食品を廃棄していました。異物混入などやむを得ない理由で捨てられる食品もありますが、まだ食べられるにも関わらず捨てられる多くの食品を目の当たりにし、「もったいないな」と日々心苦しさを感じていました。

Q：2HNへのボランティア参加の理由も食品ロスへの関心があったからでしょうか？

A：そうですね。最初は正直「ボランティア」や「誰かを支援する」という事よりも、「食品ロスを減らすための取り組み」である点に強く関心がありました。2年前ごろに退職を機に時間に余裕があり、迷わず2HNの活動に参加することにしました。

Q：実際に活動に参加されてみて、いかがでしたか？

A：「私がやりたかったのはこれ！」という感じで、捨てられる運命だった食品を活かすことができる事が純粋に嬉しかったです。食品メーカーにいた際には、他企業の実態はよく知らなかったのですが、自分だけではなく他企業も同じ問題を抱えていたことがよく分かりました。

当初は食品ロスへの関心が大きかったのですが、寄付された食品が誰かの役に立っている実感があり、大きなやりがいになっています。実際に食品をお届けした方からのお手紙には、色々なコメントが寄せられますが、感謝の言葉は原動力になりますね。

Q：2HNの活動の魅力は何でしょうか？

A：活動そのものに意義があることはもちろんですが、今日も名古屋市の生活に困った方のための相談窓口を見学に行ったり、様々な活動をしているパートナー団体（2HNが食品を届けている団体）についてなど、色々学べることですね。また、年齢や経験など多様なボランティアが集まつておらず、普段の会話の中でも初めて知ることが多く、いつも刺激がいっぱいです。



### フードバンク活動へ寄付のお願い

セカンドハーベスト名古屋は認定NPO法人です。一定の要件を満たし自治体から認定された認定NPO法人への寄付は、企業・個人ともに税制上の優遇措置を受けることができます。

銀行  
振込

三菱東京UFJ銀行 栄町支店  
普通口座 0015287  
特定非営利活動法人セカンドハーベスト名古屋

### クレジットカード寄付が可能になりました

17年3月のウェブサイトリニューアルに伴い、クレジットカードによる寄付ができるようになりました。1日約30円(月1,000円)から始められるご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

#### 【継続的な寄付プラン】

- 1,000円／月 ● 3,000円／月
- 5,000円／月 ● 10,000円／月

セカンドハーベスト名古屋 寄付